

実施計画

1 ゴールまでの道筋

実施計画では、基本計画で示された施策の実現すべきゴール（この施策の目指す5年後のまちの姿）を達成するための有効な手段と方法に関連する取組み・事業の一部として体系的にまとめています。

これらの事業・取組みの実施状況を毎年度、確認することにより、

- どのような学習活動が展開されているのか
- また、そのような諸活動が、周囲にどのように影響を与えているか

といった現状を検証し、モデルとなる事例などを市民と行政が共有することで生涯学習による「まちづくり」につなげていきます。

2 「個人の学び」から「地域とのつながり」へ

実施計画では、学びを通して、様々な人がつながりながら、支え合い、共生するまちを創造することを目指し、人々や地域の課題や目標を生涯学習を通じて解決、あるいは達成するための取組みを体系的にまとめます。

そのためには、個人の学びで完結するのではなく、生涯学習を礎に「ひとづくり」がやがて「まちづくり」に結び付くという観点を持つことが必要です。

そこで、この計画では、ライフステージごとに、個人と地域社会との関連性に着目し「心身」「知恵」「生きがい」「人とのつながり」「地域とのつながり」という段階を設定した上で、その事業がどこへの仕掛けなのか「事業のねらい」（別表参照）を意識した上で基本計画で示した方向性に一致している取組み、事業を位置づけています。

この計画は、市民全体で推進していく計画です。そのため、市の事業のみならず、関係機関、さらには市民団体が行う取組み・事業も関連事業として掲載していますが、生涯学習は様々な場所、多様な内容で実施されています。ここに掲載している取組み・事業はほんの一例であり、多くの関係機関・市民団体が同様の事業を実施しています。このため、計画の進行管理の中で、ここに掲載できなかった取組み・事業の調査を行い、新たな取組み・事業を掲載することで市民の主体的な学習活動を推進していきます。

別表

生涯学習関連事業のねらい分類票

	幼児期	学齢期	成人期	高齢期
心身	基本的な生活習慣を形成するとともに健康な身体をつくる。		心身共に健やかな暮らしをつくる。	心身の健康を維持し、増進の自覚を高める。
知恵	言葉、感性、表現力、創造力を高める。	自ら考え、行動する力を身につける。	社会の変化に対応し、仕事や生活の幅を広げる。	知識や経験を活用し継承する。
生きがい	夢や心を育む出会いやきっかけを得る。	夢を育み、夢を実現するための力を身につける。	知識・技術・経験を生かす場を持つ。	
人とながり	様々な他者と出会い、他者や自分を大切にする心を育てる。	他者と出会い、より良い関係を築くことで違いを受け入れ、共に生きる力を育む。	多様性を認め、豊かなコミュニケーションによって他者との関係を築く力を身につける。	
地域とながり	自分の住むまちに出合い、地域の様々な行事に家族で参加し地域の一員として楽しむ。	自分の住むまちを知り、地域社会の一員として、次代を担う意識を育む。	自分の住むまちを知り、地域社会の一員としての役割を担う。	

3 地域の生涯学習の拠点としての公民館

(1) 地域のプラットフォームとしての公民館

公民館の役割は、地域住民の生活課題や地域課題の解決のための主体的な学習を奨励・支援し、地域の発展に貢献しようとする気概を醸成し、急激な社会変化に対応するための人間力、地域力の向上を目指した、いつでも、どこでも、誰でも学べる学習の場の提供をすところにあります。

地域には様々な活動団体が存在します。それぞれの団体は目的・機能も活動の担い手も異なっており、団体間の連携がないまま別々に活動を行っている例が多く見られます。しかし、地域が十分な力を発揮するためには、様々な活動の間に連携と協働を生み出す仕組みづくりが必要です。人や団体が活動するために行き交う活動の基盤整備をすることで、多様な活動の間に情報交換や課題の共有が行われると共に、より多様な市民が様々な形で地域課題と結び付いた活動に参画することが可能になります。地域コミュニティの再構築に果たす公民館の役割は、そのような活動のプラットフォームの場となり、人々のより良い集積として「まちづくり」に貢献していく機能を十分に発揮することです。

(2) 「次代を担う地域の子どもの育ち」を根に据えた公民館の役割

地域の子どもは、次の時代の「まちづくり」を担う大切な“地域の宝”です。大人たちも次の世代と関わることによって、自らも学び、成熟していきます。

教育施設である公民館は、子どもとして、大人から「育てられる」ことで成人になった人間が、自分自身も親として、市民として「育てられ」、成熟していくという世代継承のサイクルを循環させることにより、人間を育てていくという息の長い教育の営みに対して役割を担うことが求められます。

そのためには、学校と地域のつなぎ役となるとともに、まずは、子どもたちの学びの好奇心が湧き上がってくるように、様々な体験機会を設け、大人が子どもに夢や希望を語りかけ、子どもと大人がともに学び合い、高め合う世代間の連帯を育む取組みを進めていくことで、タテの視点から世代をつなぎ、子どもたちの心と体を育む「豊かな土壌づくり」を担っていくことが求められます。

(3) テーマごとの新たなコミュニティをつくる公民館

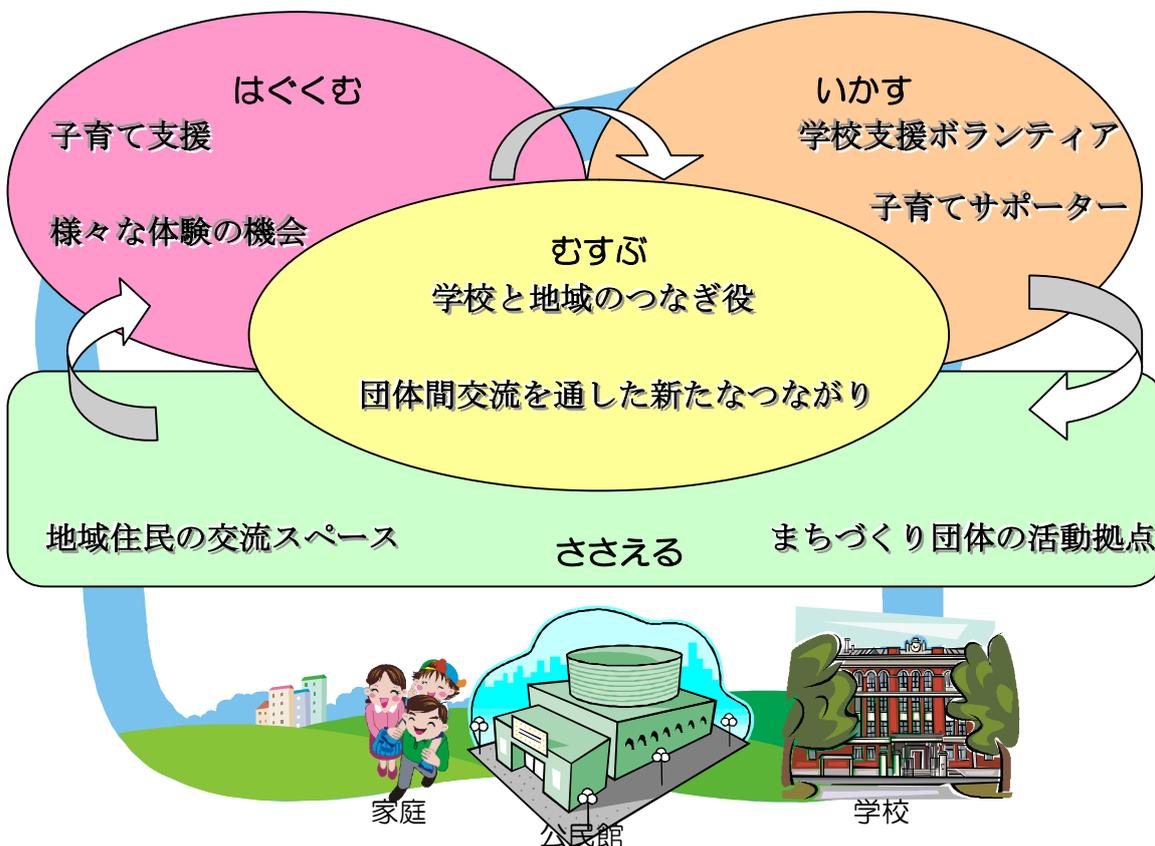
地域とは、町内会が設けられている単位から、小学校区・中学校区などの学区レベルまでの範囲が、同じ地域であるという実感を持てる規模とも考えられますし、いわき市

全体を一つの地域と見なすこともできます。

交通機関やインターネットが普及した現代では広範な市内、県内に及ばず、国内、海外の人とも容易につながることができるようになりました。そのような状況から地域における公民館の果たすべき役割も大きく見直しを図る時期に来ているといえます。

地域を超えたつながりを築く市民活動は、もともと学習を主目的としているわけではありません。しかし、住民間の交流や地域課題の解決などを目的とするこれらの活動は、活動の中で組織内のメンバーが多くのことを学ぶというだけでなく、組織外の市民に対してこれらの活動が学びの機会を提供することも数多いなど、さまざまな形の学びを含みつつ成立しています。

公民館は、このような社会環境の変化を捉え、学びを通してNPO、ボランティアグループ、サークルといった新たな「絆」を構築することで、多様な「まちづくり」を進めていくことが求められています。



「何のために事業を実施するのか」が重要！

～「何をするのか」ではなく「何のためにするのか」～

英会話・生け花・絵画・音楽など住民が積極的に学びたいと思っているニーズのことを「要求課題」と言います。他方で、自発的には学びたいとは思っていても、避けて通ることができない生活問題や地域で問題となっていることを「必要課題」と言います。さらに「必要課題」は高齢化社会やボランティアなどの「地域課題」と、子育て・消費生活などの「生活課題」とに分けられます。

学習の機会を活用する場合には、個人的な興味、関心、希望などを満たすべく、個人的要求が中心となりがちですが、社会の存続を図るためには地域や市民に共通の課題に取組む必要があります。財源が制約される中で、市民の生活の質をできるだけ少ないコストで向上させるために、生涯学習を推進するにあたってはこのような「個人の需要」と「社会の要請」のバランスに配慮することが必要です。

しかし、一見、芸術・スポーツ、趣味、教養など個人的な興味に基づくものであると思われる学習であっても、地域住民が、共に学ぶことをきっかけに、地域のつながりを生み、地域を意識することで、「地域づくり」につながる。あるいは、引きこもりがちな高齢者が、そのような趣味的な講座などに参加することで生きがいを持ち充実した人生を送ることができるとすれば、「社会の要請」に基づく学習機会の提供であると考えられます。「社会からの要請」に応える生涯学習機会を充足するためには、「何のためにするのか」「どこへの仕掛けなのか」といった「事業のねらい」を明らかにすることが重要であると考えます。

要求課題	地域課題	必要課題	生活課題
<p>(教養)</p> <p>英会話・地域の歴史・パソコン操作・・・</p> <p>(趣味)</p> <p>生け花・お菓子作り・音楽・絵画・料理・・・</p> <p>(健康)</p> <p>ヨガ・卓球・社交ダンス・健康体操・・・</p> <p>など</p>	<p>(環境問題)</p> <p>公害・渋滞・・・</p> <p>(少子高齢社会)</p> <p>一人暮らし老人・・・</p> <p>(ボランティア)</p> <p>福祉・交通安全・・・</p> <p>など</p>	<p>(家庭教育)</p> <p>子育て・親子関係・・・</p> <p>(消費生活)</p> <p>食品添加物・悪徳商法・・・</p> <p>(生活問題)</p> <p>ごみ・ハウスタスト・・・</p> <p>など</p>	

参加者がつながるための仕掛け

私の地域にはこんな史跡があるのを知った！
みんなにもっと知ってもらって来てくれれば地域が元気になる！

公民館の合唱講座で学んだ！
サークルを作って老人ホームを慰問したら喜んでもらえた！

子育てもひと段落！
幼い子どもをもつお父さん、お母さんのお手伝いをしてあげたい！

生涯学習による「まちづくり」へ

第五期いわき市生涯学習推進計画の取組み

施策の方向性1 「ひとづくり」「まちづくり」を支える学びの場の整備と活用



施策の柱①

地域住民が気軽に立ち寄れる居場所の確保・学習拠点・活動交流拠点づくり

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
赤ちゃんの駅の認定	赤ちゃん連れの家族が安心して楽しく外出できる環境づくりを進める。	各施設から申請を受けつけ、赤ちゃんの駅として認定・登録	児童家庭課
子どもの居場所「マリーン」	「地域の子どもは地域で守り育てる」場として、子どもたちを温かく見守り、寄り添い、ホッとできるフリースペースを創出する。	無償ボランティアの協力による運営	小名浜地区青少年育成市民会議
おしゃべりカフェ「コスモス」	お茶とお菓子でくつろぎながら、いろいろな思いを話す場所と集う方々の交流の場を提供する。女性ならではの不安や悩みを語り合ったり、気軽に相談したりできる『居場所』。	毎回変わるお楽しみ企画、体を動かしたり、歌を歌ったり、手芸や工作、簡単なスイーツ作り等を実施	いわきふれあいサポート
つどいの広場（プレイルーム開放）事業	子育て親の交流を図ることで、育児不安や孤立化を防ぎ、育児不安の軽減・解消を図る。	交流スペースの開放 親子あそび 子育て相談	子育てサポートセンター
子育てサロン	子育てを頑張っている方々が、子どもたちと一緒に遊びながら、子育てについての話をしたりする交流の場とする、	講話や読み聞かせ 季節の行事 リトミック 指人形や手遊び	社会福祉協議会
生涯学習プラザにおける交流コーナー癒し空間の提供	来館者に癒しの空間を創造することで誰もが集える環境を演出する。	地域住民が集いやすい環境整備 遊びと憩いの広場における遊具や絵本の備え付け、年中行事を取り入れた飾りつけの実施	生涯学習プラザ

施策の柱②

生涯学習に親しめる場の拡充

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵 生きがい 人とのつながり 地域とのつながり	赤ちゃんへの初めての絵本事業	読み聞かせの啓発により、乳幼児期からの読書活動を促進させることで、豊かな人間性を育む。	乳児健診会場に、図書館職員や読み聞かせボランティアが出向き、おすすめ絵本リストを配布しながら絵本の読み聞かせや啓発活動を実施	総合図書館 各地区保健福祉センター
	いわき市環境アドバイザー事業	アドバイザーを派遣することで、市民が自発的な環境保全活動に取り組むために必要となる知識を提供する。	市民団体等からの派遣依頼を受けて講習会等への派遣	環境企画課
	市役所出前講座における市職員等の派遣	市職員が講師として地域に出向き、市民の学習活動の支援を図る。	市役所が関わっている仕事を学習メニューとして職員を講師として派遣	いわき市役所
	公民館を活用した図書館サービス	図書館に足を運ぶことが困難な高齢者等の利便性向上につなげる。	地区公民館での予約資料の受取り及び図書返却 移動図書館車の巡回	総合図書館 公民館
	生涯学習市民講師活用事業における市民講師の派遣	市民が自主的に行う学習活動などへ市民講師を派遣することで、生涯学習に関する様々な学習機会の創出を図る。	市民講師の人材発掘及び登録 生涯学習情報サイト「いわきまなびあいバンク」における情報提供 市民講師の派遣	生涯学習課 公民館 生涯学習プラザ
	おでかけアリオス（芸術普及事業）	学校や地域コミュニティなどにアーティストとともに出向き、生の芸術体験をより多くの市民に親しみやすい形で届ける。	音楽・演劇等の普及型公演	いわき芸術文化交流館アリオス

取組みの例

子どもの居場所 マリーン

- ・ だれかとふれあいたくてやってくる人
- ・ パソコンで調べ物をしにくる人
- ・ つかれた心と体を休めにくる人
- ・ 本を読みにくる人
- ・ ホットしにくる人

君ならどんなふうを使う？

利用者 小学4年生～高校生

場所 小名浜公民館 フール管理棟内

開所日

月曜日 午後3～7時(祝日の場合 午前10時～午後6時)

水曜日 午後3～7時(祝日の場合 午前10時～午後6時)

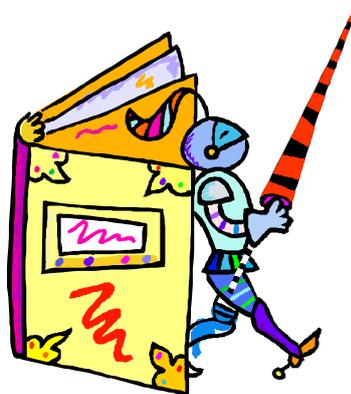
金曜日 午後3～7時(祝日の場合 午前10時～午後6時)

土曜日 午後3～7時(祝日の場合 午前10時～午後6時)

赤ちゃんはじめての絵本事業でのボランティアとの協働(勿来地区)

絵本の読み聞かせをしてみようと、まだ言葉を発することが出来ないような赤ちゃんでも、じっと絵を見つめたり、絵を指差したりして、喜んだり、驚いたりしていることが分かります。そんな様子を見ると、多くの大人達は「こんな小さくても分かるんですね。」と驚きます。

勿来地区保健福祉センターでは、10ヶ月健康診査の場で地域のボランティアと協力して絵本の読み聞かせを実施しています。



施策の方向性2 学習情報の共有と相談体制の整備



施策の柱①

新たな学習やまちづくり活動のきっかけとなる学習情報提供・共有化

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
子育てくらしのガイドブックの発行	子育て中の親が安心して子育てができるよう支援するため、情報誌を発行する。	こんな時の対処法 子どもを受診させる時の心得 犯罪から子どもを守るために	社会福祉協議会
図書館事業等の情報提供	図書館の利用案内や事業についての情報を提供し、図書館の利用促進を図る。	図書館報、図書館ホームページ、館内情報システム、自動電話応答システム等での情報発信 FMいわきでの新着図書等の紹介	総合図書館
キッズ★アリペの発行	子どもたちと地域がつながっていくよう、子育て情報などを発信する。	市内の子育て情報・子ども向けイベントの開催情報の発信	いわき芸術文化交流館アリオス
いわきまなびあいバンクによる情報提供	市内の生涯学習に関する様々な情報の収集を行い、インターネットを通じ市民に公開する。	市民講師の情報 社会教育団体・サークル等の情報 地域資料・教材 職場体験事業所	生涯学習プラザ 生涯学習課
市民活動情報サイトによる情報提供	市民活動に関する情報の発信を促進し、市民活動の活性化を図る。	市民活動団体による活動情報等の発信 市から行政情報や関連情報等を発信	市民協働課

施策の柱②

専門職員による相談支援体制の充実

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
母子健康相談	育児に関する相談に応じるとともに、育児不安の解消や母親同士の交流を図る。	身体計測 保健師、栄養士、 歯科衛生士、心理 判定員による個別 相談	地域保健課
図書館レファレンスサービス	市民の学習や調査・研究等の手助けをする。	図書館の資料やインターネット、データベースなど、あらゆる情報源を駆使して利用者の疑問解決を支援	総合図書館
公民館及び生涯学習プラザにおける窓口相談	市民の生涯学習活動や、他の公民館、図書館などの生涯学習施設を一層充実するための支援を行う。	様々な情報の収集 生涯学習に関する 情報の提供	公民館 生涯学習プラザ
社会教育指導員の配置	社会教育に関する指導、助言を行い、社会教育の振興を図る。	公民館市民講座等の指導及び助言 団体の育成支援 小中学校巡回による学校のニーズの把握と学校、地域のコーディネート	公民館 生涯学習課
学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業における事業推進コーディネーターの配置	学校・公民館・地域との連携体制の強化を図り、学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業の効果的な推進を図るため、事業全体をコーディネートする。	学社連携・融合及び学校支援的取組みの推進と学校と地域の連携体制の強化への指導・助言、コーディネート、理解促進を図るための学校長等への説明・助言	生涯学習課

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組みの例

いわきまなびあいバンク

生涯学習に関する様々な情報を、検索機能を有するデータベース化を図り、インターネットを通して広く市民の皆さんへご案内することにより、市民の自主的な生涯学習活動を推進する事業です。

《掲載内容》

- 市民講師
- 社会教育関係団体・サークル等に関する情報
- 生涯学習施設
- 学習教材



◆「いわきまなびあいバンク」ホームページアドレス

http://gakusyuplaza.city.iwaki.fukushima.jp/manabi_bank/manabi.html

図書館レファレンスサービス

「スカイツリーの高さは何メートル?」「この漢字はどう読むの?」「このペットの飼い方は?」「履歴書ってどうやって書くの?」など、毎日の暮らしの中でふと感じた疑問への回答や必要な情報を探し出すお手伝いをします。

図書館の相談窓口では、情報や資料を求めている利用者を支援する「レファレンス・サービス」を行っています。宿題やクイズ、法律相談や病気の相談、書画骨董の鑑定などには、直接お答えすることはできませんが、参考になる資料などをご紹介しますことはできます。新聞記事や法律、科学情報、辞書・事典類等については、商用データベースもご利用いただけます。

質問は、電話でも受け付けています。

また、ホームページからも、質問の申込みができ、質問事例の公開もしています。

図書館ホームページアドレス

<http://library.city.iwaki.fukushima.jp/>

施策の方向性3 生涯学習支援者・支援団体の育成・活用



施策の柱①

実践的な生涯学習の人材・団体の養成・活用

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
いわきまなび あいバンクの 普及活用	生涯学習に関するスキルを持った 市民相互の交流を深め、指導者として の資質向上を図り、地域住民 への還元を促す。	市民講師の人材の 発掘と情報提供 登録者を活用した 講座の企画、運営 登録者を対象とし た研修会や交流会 の実施	生涯学習課
ITボランテ ィア・リーダ ー企画講座	ITボランティア・リーダーに活 躍の場を提供する。	ITボランティ ア・リーダーによ る講座の企画	生涯学習プラ ザ
いわき市生涯 学習支援ボラ ンティアの会 による市民大 学講座運営	市民大学受講者の学びの成果を還 元することで、「知の循環」を図る。	生涯学習支援ボラ ンティアの会によ る市民大学講座の 企画、運営協力	生涯学習プラ ザ
市民講師養成 講座	市民講師登録希望者等がスキルを 身につけ、学び合うことを通して まちづくり等に活躍する人材を育 成する。	生涯学習と市民講 師について 求められる市民講 師像	生涯学習プラ ザ
学社連携・融 合及び学校支 援的活動にお ける地域の 人材の活用（学 校・家庭・地 域パートナー シップ推進事 業）	地域ぐるみで子どもを育てる意識 の醸成を図るため、学校と地域が 連携して、共に学ぶ機会を創出す ると共に、学校支援的活動を実施 する。	学社連携・融合に よる農業体験学習 や公民館登録サー クルとの交流、地 域住民との共同学 習 学校の環境整備や 学習・行事におけ る指導補助、部活 動支援、登下校見 守り活動等	公民館 学校 生涯学習課

施策の柱②

まちづくり団体や学びの成果を生かしたサークル等への効果的な支援

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
森林ボランティア活動支援事業	市民ボランティアとの協力・連携のもとに、広葉樹の植栽や水源林等の整備を図る。	市民団体の自主的な森林の整備活動に対する補助金の交付	林務課
地域スポーツ・クラブ育成支援事業	スポーツ・クラブの設立・育成や各地域への定着を支援することで市民の健康、体力の保持・増進などを目的とする。	いわき総合型スポーツクラブユニオンに対するスポーツ教室等の開催補助 各総合型地域スポーツクラブ全体の周知	保健体育課
地域観光力向上支援事業	市民活動団体等が取組む地域資源を活用したまちづくりを通じ、地域の観光力の向上を目指す。	地域の観光資源を掘り起こし、新たに開発した旅行商品をモニターツアーとして実施する場合の経費助成	観光物産課
いわき市ボランティア基金	地域福祉の向上をめざし、福祉活動に関わる地域住民・民間団体の自主的で継続的なボランティア活動を支援する。	助成金の交付	社会福祉協議会
駒澤嘉いわき生涯学習振興基金	公民館等で活躍する社会教育団体等が広く市民向けに主催する事業を支援する。	助成金の交付	生涯学習課
明日をひらく人づくり事業補助金	将来のまちづくりを担う創造性豊かな人材の育成に向けた取組みを支援する。	市民活動団体が、公共の利益を目的として、自ら企画立案し実施する、まちづくりを担う人材育成を目的とした事業に関する経費の補助	市民協働課

心身知恵生きがい人とのつながり地域とのつながり

取組みの例

学社連携・融合及び学校支援活動における地域の人材の活用 (学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業)

学校や家庭、地域が関わり合いながら、地域ぐるみの“人づくり”を目指すことを目的として、各学校や各地域において、様々な学社連携・融合及び学校支援活動を進めています。

学校では地域の方々や各種団体・サークル、市民講師、地元企業等と連携・融合しながら、地域の歴史や文化、自然を生かした体験活動や職場体験学習、異世代や地域との交流事業など様々な体験・交流活動を実施しています。また、学校のニーズに応じた地域の学校支援ボランティアによる学習支援、クラブ・部活動支援、学校の環境整備等の活動も行っています。



公益信託駒澤嘉いわき生涯学習振興基金

この基金は、須坂藩(現在の長野県須坂市)代々の家老 駒澤家十五代当主駒澤先左衛門貞春の孫娘であり、教員を勤められていた駒澤嘉先生が、晩年いわき市で過ごされた時に設立した基金です。

一般市民向けに広く参加者を募集し、講座等を実施する社会教育関係団体や学習団体に対して助成金を給付しています。



施策の方向性4 生涯にわたって学べる環境整備



施策の柱①

ライフステージに応じた学びの機会の充実

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
市民講座	地域住民に対して多彩な学習機会を提供し教養の向上、健康の増進、情操の純化を図る。	家庭教育支援講座 ジュニア学級 高齢者学級	公民館
図書館事業	子どもが豊かな人生を歩む基盤を形成するとともに、大人にとっても生涯にわたり、日常生活を豊かに送るための読書活動の推進を図る。	図書館資料の充実 おはなし会 子ども向け事業 ティーンズ向け情報提供 ビジネスや生活情報の提供 講座・講演会等の実施	各図書館
美術館教育普及事業	美術や芸術文化を身近に体験していただき、親しみと理解を深める機会を提供する。	企画展に関連した講演会、ギャラリートーク ワークショップ 移動美術館	文化課
生涯スポーツ振興事業	子どもから高齢者まで幅広い市民の健康増進や体力の向上を図る。	わくわく体操教室 親子なわとび教室等の各種市民スポーツ教室 体育施設無料開放事業	保健体育課
いわきヒューマンカレッジ（市民大学）	市民の高度で専門的な学習ニーズに応え、学習機会の拡充を図ると共に、豊かな市民生活に資することを目的とする。	生涯学習支援ボランティアの会と市内高等教育機関が連携・協力し、4学部の多種・多様な講座を企画・開催	生涯学習プラザ

施策の柱②

学ぶにあたってサポートを必要とする方が参加しやすい学びの機会の充実

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身	地域参加型グループワーク（ほのほのサークル）	精神的障がい者の疾病再燃を予防し、社会参加と自立を促進するために、障がいの程度に応じた生活訓練やグループ活動を通して社会適応力の向上を図る。	調理実習 絵手紙 野外活動 クリスマス会	地域保健課
知恵	図書館視覚障がい者等サービス	視覚障がいなどで、活字での読書が困難な方への学習機会を提供する。	対面朗読の実施 録音図書製作 録音図書、点字図書の貸出	総合図書館
生きがい	いきいきデイクラブ事業	介護予防に関する知識の普及・啓発を行うことにより高齢者の社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図る。	教養講座 運動機能の維持向上活動 陶芸・園芸の創作活動 木工・絵画等の趣味活動 社会貢献活動	長寿介護課 社会福祉協議会
人とのつながり	日本語教室（日本語普及事業）	市内在住外国人に日本語学習を通じて、日本文化や習慣等に関する知識を得てもらう。	日本語教授の専門家等を講師に迎え、レベル分けをして教室を開催	国際交流協会 市民協働課
地域とのつながり	障がい児保育事業	心身に障がいを有する児童と健常児との集団保育により、理解促進を図ると共に児童の家庭の支援を行う。	障がいの程度に応じた保育士配置による保育の実施	児童家庭課

取組みの例

いわきヒューマン・カレッジ(市民大学)

市民の皆様に学びを通じて生き生きとした人生を送ってほしいという思いから、各関係機関の協力により平成9年に開学した市民のための大学です。

平成24年度には次の4学部を開講しました。(各学部7講座あります。)

○**統・ヘルスサイエンス学部**(会場:いわき明星大学)

健康に関わる事柄を科学的に学習します。 ※講座:「がんに関するハイライト」等

○**地域経済学部**(会場:東日本国際大学)

地域経済の現代的課題や背景、地域活性化の方策について考えます。

※講座:「地域活性化のマーケティング」等

○**環境再生学部**(会場:福島工業高等専門学校)

災害列島の日本で生きるために必要な知識や知恵に基づく考え方について考えます。

※講座「汚染と除染について」等

○**いわき学部**(会場:いわき市生涯学習プラザ)

地域史を探り先人に学ぶことで復興へ向けた智恵について考えます。

※講座「黄泉への旅立ちと鎮魂呪護の世界」等

日本語教室

日本での生活をするうえで必要な日本の習慣や日本語を指導することを目的に、前期及び後期それぞれ10回開催(レベル・学習目的に応じて、「初級」「話す」「書く」「日本文化」の4クラス開設)しています。

平成24年度前期は5月16日から7月19日まで開催しました。後期は9月26日から開催しています。



7月18日 日本文化クラス



9月26日 初級クラス

施策の方向性5 社会の変化に対応できる学習機会の充実



施策の柱①

家庭の教育力向上のための学習活動の支援

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵	プレママ・プレパパクラス	両親が前向きに安心して子育てができるよう、妊娠・出産・育児に関する適切な情報の提供や仲間づくり等の支援を行う。	先輩ママとの交流会、助産師の講話、妊娠中の栄養と調理実習、沐浴体験、制度説明等	地域保健課
	幼稚園子育て応援事業	子どもの健全な育ちと親が子育ての主体者であることの認識を促す。	子育てに不安を持つ親に対する相談と指導 子育てを終えた世代の人たちと交流の場を提供	学校教育課
人とのつながり	おはなしの世界を楽しもう！	文化財としてのパネルシアターを体験してもらい、実際に製作・実演実習することで読み聞かせ活動の充実と地域の読書環境の充実に寄与する。	外部講師による実演とパネルシアターの制作講習 実演実習とディスカッション	子育てサポーターのつどい ★てんしのほほえみ★
	ママ to こ教室	子育てに使えるエコおもちゃなどを作成することで親子のコミュニケーションづくりに寄与する。	赤ちゃんのためのエコおもちゃづくりや季節の「おはなし会」	ママ to こクラブ
地域とのつながり	1日ママ先生	出産・育児で離職した方の生きがいを創出し、地域の活性化に貢献する。	英語、心理学、華道、手芸、カラーコーディネートなどの講座	サード・ハンド
	家庭教育講座	地域の親と一緒に遊び、親に明日への活力を与えて、元気な子を育てる一助とする。	思春期講座 幼児期講座 座談会「私達ができること」	いわきおやこ劇場

施策の柱②

現代的な課題に対応し生活力を向上させる学びの機会の充実

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
放射能・健康セミナー	放射性物質が健康に与える影響について市民に正しく理解していただくことを目指す。	講演 本市の取組みについて	原子力災害対策課
新エネルギー普及促進事業	次世代を担う小学生の新エネルギーに対する理解と意識の高揚を図る。	副読本「みんなの新エネルギータウン」を作成	環境企画課
消費生活講座	日常生活に密着したテーマを取上げ、学習の機会を提供することにより、消費生活に対する関心を高め、消費者の自立と資質の向上を図る。	記念講演会 暮らしの教室 一日暮らしの教室 親子教室 通信講座 学校巡回講座	消費生活センター
復興・防災提供プログラム提供事業	震災体験や震災から得た教訓を次世代へと継承していく活動を通じ、地域全体の防災・減災活動の啓蒙を図る。	東日本大震災の概要、被災者の生の声、被災地視察による復興・防災プログラム（スタディツアー）の提供	観光物産課
洪水ハザードマップ作成事業	水害に対する日頃からの理解や備えなど、防災意識の向上を図り、水害時の的確な避難行動につなげる。	洪水から我が身を守るために	河川課
いわき防災サマーキャンプ事業	災害時等の困難な状況においても、子どもたちが生き抜くための力を育む。	夏休み期間中1泊2日で実施する避難所生活疑似体験キャンプを実施 楽しみながら学べる防災教育プログラムの提供	公民館 生涯学習課

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組みの例

フレママ・フレパパクラス

「フレママ・フレパパクラス」は、妊娠・出産・育児に関する知識を身につけながら、他の妊婦さんとの交流により心身をリフレッシュし、さらに楽しく子育てができるよう開催します。

また、育児にはパパの協力が必要です。パパになる方も一緒にご参加ください。

一回目 :先輩ママの体験談・交流会、口腔衛生について

二回目 :助産師の話

三回目 :妊娠中の食事について(講話と調理実習)

四回目 :赤ちゃんのお世話、制度について

いわき防災サマーキャンプ事業(レッドベアいわき防災キャンプ)

東日本大震災を踏まえ、避難所生活や防災学習プログラムを体験できる1泊2日の防災キャンプを、市内6地区の公民館や学校を会場として実施しました。

参加した子どもたちは応急手当や火起こし、ロープワーク、水消火器、バケツリレー、毛布担架、防災学習カードゲーム、ナイトウォーク、被災体験の講話など、地区別に企画された様々なプログラムを楽しく体験しながら、防災知識をしっかりと身に付けることができました。



施策の方向性6 多文化共生社会にむけての学習の推進



施策の柱①

生涯スポーツ・文化・芸術に関する学習機会の充実

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵 生きがい 人との つながり 地域との つながり	シルバーピアード（高齢者スポーツ大会）	スポーツを通じて健康増進を図ると共に、相互の親睦交流を深めることを目的とする。	市内14地区の老人クラブの会員を対象に運動会を開催	長寿介護課
	文字に描く夢講座	中・高生を対象に日本語の美しさや書くことの楽しさを発見し、豊かな表現力を学ぶことなどを目的とする。	文章を書くきっかけをみつめるコース 個別添削指導を行うコース	文化課
	楽しくパッチワーク	手作りの楽しさを学びながら、日常生活に活力と癒しを得ることを目的とし、参加者間の交流を深める。	パッチワークによる作品の製作 バック、タペストリーの製作等	「なごみ」パッチワークサークル
	日本音楽（箏）講習会	地域に根ざした邦楽の普及と活性化を図る。	市内の中・高校生箏曲部生徒や一般市民が講習曲にプロの指導で楽しみながら取り組み、学ぶ	いわき日本音楽クラブ
	人づくり養成講座	観光客のニーズに対応し、きめ細やかな対応のできる体制を整備する。	質が高くきめ細やかな対応のできる案内人のための接遇研修講座	観光物産課
	サンバ&アートワークショップ OVO NOVO	芸術体験を通して、一つのものをつくりあげる喜びと世代を越えたコミュニケーションを楽しむ場を創出する。	パーカッションアンサンブルと美術の共同制作の体験ワークショップの開催 ワークショップの成果として地域イベントなどへ出演	サンバ&アートグループ OVO NOVO

施策の柱②

共生社会に向けた学びの機会の充実

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
男女共同参画の日事業	男女共同参画についての関心と理解を深め、社会のあらゆる分野の活動に自ら参画する意欲を高めることを目的とする。	毎年11月第2日曜日の「男女共同参画の日」に講演会や市民参加型イベントの実施	男女共同参画センター
水道水源地清掃・施設見学会	水道水源保護の重要性や良質な水を安定供給している水道についての市民の認識を深めてもらうことを目的とする。	水道水源地の散策、清掃及び浄水場の見学	水道局浄水課
全国星空継続観察	星空の観察により環境保全の重要性について考えてもらうことを目的とする。	天文同好会との共催により夏期と冬期に星空観察会を実施	環境企画課
CAP ワークショップ	子ども自身があらゆる暴力から自分の心と体を守る教育プログラムを実施することで、子どもには自分の大切さと暴力から身を守る具体的な方法を教え、大人には子どもの持つ力を信じ、子どもの心の手当の方法を伝える。	教職員ワークショップ 保護者ワークショップ 子どもワークショップ	CAPいわき
多文化共生事業	多文化共生社会にあって市民の国際感覚の醸成を図り、市内国際化推進に寄与する。	外国語講座や外国料理教室等外国文化理解講座の開催	国際交流協会 市民協働課

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組みの例

シルバーピアード

老人クラブ会員がスポーツを通して健康増進を図り、相互の交流を深めることを目的に開催しています。

競技はチーム対抗の団体戦で実施。風船割りやボウリング、玉入れ、モデルに順々に服を着せていくファッションショーなど、工夫を凝らした種目を繰り広げながら競技を楽しんでいます。



男女共同参画の日事業

男女共同参画のさらなる推進を図るため、平成23年4月1日に「いわき市男女共同参画推進条例」を施行し、11月の第2日曜日を「男女共同参画の日」と決めました。

第2回目となった平成24年度は、「一人ひとりが輝くために〜」♡(う7)iwaki」をテーマに掲げ事業を実施しました。

市民団体の皆さんを講師に親子を対象とした事業の実施、市民ボランティアの皆さんによる主催事業及び事業補佐、男女共同参画に関するもの及び復興支援メッセージの展示、いわきふれあいサポートの皆さんによるDV防止に関する展示及び啓発活動、「男女共同参画に関する川柳」を募集し入賞者への川柳表彰式及び講演会の開催など、多くの市民の皆様とともに、事業を実施することができました。

施策の方向性7 ふるさと教育の推進



施策の柱①

地域への関心を高める学びの機会の充実

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵 生きがい 人との つながり 地域との つながり	都市緑化まつり	緑を守り、増やし、育てる知識を深めて、身近な緑化運動を始める契機とすることを目的とする。	市保存樹木・樹林に関するパネル展示 みどりに関する相談コーナー	公園緑地課
	（仮称）いわきふれあい食農教室	生産者と消費者との交流を図りながら、地元で生産された農産物のPRを図る。	児童と生産者との交流会 地域に伝わる伝統食料理教室	農業振興課
	梅ヶ香盆囃子保存会「演奏教室」	盆囃子について多くの地域の方に興味を持ってもらうことで、地域の文化保存の充実に寄与する。	講座 盆囃子保存会発表	梅ヶ香盆囃子保存会
	じゃんがら念仏踊りを通じた人づくり事業	地域の歴史文化維持と子供の健全育成のための情操教育を推進すると共に次世代のまちづくりを担う人材育成を図る。	各イベントに参加 各施設への慰問	西郷町子供じゃんがら念仏踊りの会
	いわき再発見講座	地域の特色をクローズアップしながら地域の特色ある歴史・文化を再発見することで、自分たちの住む地域の理解を深める。	「いわきの歴史・文化」の学習プログラムを実施	生涯学習プラザ

施策の柱②

まちづくりへの関心を高め、まちづくり活動を促す学びの機会の充実

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
動くまち☆ふらっと	買い物困難の問題から日々の生活を支え、喜びをもたらす「食」をテーマに地域の交流の促進に向けて活動を展開する。	すぐ手の届く生活サービスの供給・交流の場の創出	PeMeLL の会
環境・まちづくり講座	地域の町並みや河川、環境・歴史や人々の生活を知り、地域のまちづくりを考えることを目的とする。	環境問題 地域の暮らし まちづくり	生涯学習プラザ
いわき・ふれあい・ふくし塾	温かい思いやりとふれあいに支えられた福祉のまちづくりに多くの市民が参加してくれることを願って開塾する。	福祉に対する講義 ボランティア活動などによる実践的学習	保健福祉課
まちづくり・未来づくり講演会	市民一人ひとりが主体的に活動し、協働によるまちづくりを推進することを目的とする。	ボランティアについての講演会 地域づくりについての講演会 市民活動団体の活動事例発表会	市民協働課
備えあれば憂いなし “第一の備え・・・人との繋がり”作ろう！	暮らし続けたい地域コミュニティと活気あるまちづくりのために、災時の情報交換、防災・減災につながる具体的災害対策について学び、ワークショップ等を行うことで交流を深めるとともに、地域防災力を高める。	防災について 防災レシピ紹介 ダンスワークショップ	災害対策市民協議会いわき支部
支所と公民館との連携によるまちづくり	支所・公民館が情報提供や地域課題に応じた講座の実施による人材育成など連携して、まちづくり活動の実践の場を提供する。	管内連絡会議 まちづくり情報の提供 まちづくり団体への関与 地域課題に対応する講座の企画立案	市民協働課 生涯学習課 公民館

心身知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組みの例

いわき再発見講座

「太古の昔、ここは海だった」

これは化石産出地の上に建てられたアンモナイトセンターのキャッチフレーズですが、いわきには自分の知らない驚きの発見場所・歴史・伝承がたくさん埋もれています。

また、いわきにはその魅力を発信する文化施設(いわき市考古資料館、暮らしの伝承郷、草野心平記念文学館、アンモナイトセンターなど)や研究会も数多く存在します。

いわき再発見講座では、これら施設の学芸員や市内研究者を講師として招き、特にいわきの古生物・考古・歴史・文学・民俗にスポットを当てながら、受講者一人ひとりがいわきの歴史や文化について再発見することを目的として開催する講座です。

まちづくり・未来づくり講演会

ボランティア活動の実践者などから体験談やボランティア活動を通じた人生観を聴講したり、アドバイスを受けたいすることで、ボランティア活動を始めるきっかけとなるような講演会を開催します。

また、市民活動団体向けに、まちづくり活動等を研究している大学教授や専門家を講師に迎え、より実践的な講演会を行ったり、市の「まち・未来創造支援事業」等の補助を受け、実際に成果のあがっている市内の市民活動団体に事例発表の場を設け、活動の参考にしてもらったりすることで、市民活動のより一層の推進を図ります。



施策の方向性8 学びの実践の場としてボランティア活動の推進



施策の柱①

地域ボランティアの育成のための環境整備

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵 生きがい 人とのつながり 地域とのつながり	視覚障害者サポーター講座	視覚障害者の心理、サポート技術について市民が学び、視覚障害者への理解を深めボランティア活動につなげる。	眼科概論 障害者福祉 当事者の心理 サポート技術講習	視覚障害者サポートグループゆかり（縁）
	いわき市健康推進員	地域住民の健康づくりを推進することを目的に地域の特徴を生かしたボランティア活動を通して、地域の健康づくりを学びながら推進する。	「食育の日」にリーフレットの配布・地域住民に対する食生活の改善や運動の普及啓発	地域保健課
	各種ボランティア講座	ボランティアのまちいわきを目指すことを目的に各種ボランティア養成講座を開催する。	傾聴活動・レクリエーション活動 災害（復興）ボランティア活動等	社会福祉協議会
	メディア指導員養成講座	最新の知識を持つ指導員を養成し、青少年や保護者にインターネットの正しい使い方や危険性を啓発する。	指導員養成講座等 研修の開催 教育講座の開催	青少年育成市民会議
	ボランティア養成講座	ボランティアやコーディネーターの養成を目的とする。	ボランティアコーディネーターのあり方・ボランティア活動の実践事例	生涯学習プラザ
	権利擁護サポーター養成講座	誰もが安心して暮らせる社会づくりを目指して、成年後見制度を学びながら、地域で暮らす高齢者、障害者を福祉的な立場で支援できる人材を養成する。	養成講座の開催	そよ風ネット いわき
	青少年ボランティア事業	様々なボランティア活動や体験活動の機会を情報提供し、青少年の参加を支援することで、自らの成長や社会貢献意識の高揚を図る。	中学生以上、25歳未満の青少年から希望者を募り、各種活動等へ派遣	総合教育センター

施策の柱②

地域ぐるみの子育て支援環境づくり

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
ファミリー・サポート・センター事業	就労と子育てが両立できる環境づくりのため、広く児童の福祉に資することを目的とする。	相互援助活動 会員募集・登録 講習会の開催 説明会の開催等	児童家庭課 社会福祉施設 事業団
子育てサポーター・プリズム「読み聞かせ研修会」	地域の子育てボランティアの支援活動を実践、母と子の健やかな育ちに寄与することを目的とする。	読み聞かせの実演と講話	子育てサポーター・プリズム
青少年に夢と希望と平和の芽を	東日本大震災を体験し、世界の中で生かされている実感を持ち、歩み出している青少年の心に夢と希望、平和の芽を育て、復興の力を育てる。	児童・生徒への平和に関する授業の充実と作文募集 青少年に夢と希望と平和の芽を育てるフォーラムの開催	いわきユネスコ協会
子どもと遊ぼう	物作りを通し幼児の知的好奇心の向上を目指す他、親子のふれあい、親同士の交流を目的とする。	起き上がりこぼしを作ろう 折り紙であそぼう	生涯学習プラザ
子育てサポーター養成研修会	子育て支援のための人材を養成し、地域で子育て不安や育児に悩む親へのサポート体制を構築することを目的とする。	絵本のパワーを感じよう 先輩サポーターから学ぼう	生涯学習課 生涯学習プラザ
地域子育て支援拠点事業	子育て親子の交流の場を設置し、育児不安を緩和するなど地域の子育て家庭を支援する。	子育て親子の交流の場の提供 子育て等に関する相談、援助の実施 子育てに関する講習等の実施	児童家庭課 社会福祉協議会 社会福祉施設 事業団

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組みの例

いわき市健康推進員協議会

皆さんご存知ですか？

「いわき市健康推進員協議会を…」

毎日を楽しく過ごすためには、心身ともに健康であることが求められます。

いわき市健康推進員協議会は、地域住民の健康づくりを推進することを目的に、平、小名浜、勿来、常磐・内郷・四倉の6方部ごとに、それぞれの地域の特徴を生かしたボランティア活動を通して、地域の方々(友人、知人、近所)と共に楽しみながら健康づくりを学んでいます。



子育てサポーター養成研修会

子育てサポーター、育児ボランティアとして地域で活動する意欲のある方を対象に、身近に子育てに関わることのできる子育て支援のための人材を養成し、子育て不安や育児に悩む親へのサポート体制をつくり支援を行ってきます。

《研修内容》※平成22年度より

- 軽度発達障がいってなんだろう？ ～発達障がいとその対応～(講義)
- 児童虐待について ～子どものSOSに気付こう！～(講義)
- 家庭教育学級での体験学習 ～地域の子育て支援を体験しよう！～(実習)

他10テーマでの講義、演習、懇談



施策の方向性9 市民のキャリア形成の支援



施策の柱①

職業観やチャレンジ精神を育む学びの機会の提供

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵	少年少女の消防署体験入隊	消防業務の疑似体験を通し、消防業務に対する理解を深めると共に、火災予防および災害から身を守るための方法を学習する。	講話 消防業務体験	消防本部予防課
	保育所児童との交流事業	小・中・高校の生徒と保育所児童との交流活動を実施し、異年齢に対する理解を深める。	総合的な学習の時間を利用した職場体験活動	児童家庭課
生きがい	親子ものづくり教室	技能職と市民とのふれ合いの場を提供することにより、ものづくりの大切さや面白さを実感してもらう。	各職種による親子ものづくり教室	商工労政課
人とのつながり	ジュニアエコノミーカレッジinいわき	小学生に商売体験をしてもらいながら、商売の基本や社会のルールを学んでもらい、働くことの喜びや企業家精神を養う。	内容ごとに分けたセミナーを実施（ドリームセミナー、アクティブセミナー、販売実践まとめセミナー、表彰式）	いわき商工会議所青年部
地域とのつながり	いわき市高校生就職支援事業	高校生のキャリア形成に対する意識を高め、就職可能性の向上と地域で働く意識の醸成、就職後の早期離職の減少を図ることを目的とする。	仕事人の話を聞いてみよう 就職への道案内 いわきの“職”体感ツアー	商工労政課
	サマーショートボランティアスクール	高校生に地域社会の福祉の現状や問題を理解し、今後のボランティア活動への積極的な参加を促し、振興を図ることを目的とする。	福祉施設体験 ボランティア講演	社会福祉協議会
	いわき・わくわく「しごと塾」	「匠の技」や人物像を通じて将来の夢を育むと共に交流を通して地域の絆の強化を図る。	職業体験 ワークショップ	公民館 生涯学習課

施策の柱②

地域・社会に参画することで「出番」を創出する学びの機会の提供

取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
震災語り部養成事業	震災から得た教訓を次世代へと継承していく活動を通じ、地域主体の防災・減災活動の啓蒙を図る。	震災語り部として登録 活動にあたり必要な心構え、基礎知識等を学ぶ講座	観光物産課
「知恵と技の交歓教室」補助事業	高齢者と若い世代が互いに理解を深め仲良く暮らしていける地域社会の実現を目指す。	伝承遊具づくりと遊び方指導 もちつき大会 スポーツを通じ児童と交流	長寿介護課
日本の伝統に学ぶ次世代育成事業	能楽に存在する知恵や恵みを子育ての方針にしながら、日本の伝統に学ぶ機会を創出する。	ワークショップ 公開相談形式で実例を挙げながらテーマの講演実施	いわき宝生会
パークフェス	イベント等の開催を通じて、まちの賑わいの創出、次世代のまちづくりを担う人材育成、地域社会への参画の機会拡大を図る。	パークフェスの開催運営	パークフェス実行委員会
一日だけのサマースクール in 勿来公民館	学童の夏の長期休暇は多世代交流での体験学習に格好のタイミングであり、伝統教育や家庭教育の支援をすることで地域教育力の維持に寄与する。	学童の場（夏休みの宿題等）と伝承体験、料理体験など色々なことにチャレンジさせる。	いきいき歩こう会
笑顔プロジェクト (シニア人財倶楽部事業の活動)	いわき市の都市部に住むシニア世代を中心に設立された団体で、会員が培ってきた様々な経験、資格、技術技能等を活かし、高齢者向けパソコン講座、自然と歴史を楽しむ健康ハイキングの実施など、様々な地域貢献活動を行っている。	高齢者の健康維持向上の事業 ITサポート、教育、研修関連事業 農業・農村活性化推進事業 就労支援事業 子どもの健全育成、スポーツ振興事業	シニア人財倶楽部

心身
知恵
生きがい
人とのつながり
地域とのつながり

取組みの例

いわき・わくわく「しごと塾」

市内6地区の公民館で、小学4～6年生を対象に、いわきを代表する産業や地域における個性豊かな職業に従事されている方々を講師に迎えた職業体験と、体験した内容をアーティストと共に振り返りながら作品化する「ワークショップ」を実施し、その成果や産業・職人とのふれあいから感じた思いや地区の自慢を発表する「いわき・わくわくキッズミーティング」を開催しています。



震災語り部養成事業

東日本大震災を経験した私たちが震災からの復興に向けてできること。

それは、後世に向けて伝えていくべき体験、教訓などの震災の記憶を継承し、防災・減災の一助となる活動へとつないでいくことと考えます、

ついては、市民の皆様「震災語り部」として登録いただき、教育旅行等で、いわき市にいらっしゃる中・高校生を対象に貴重な体験をお話いただきます。



施策の方向性 10 学習活動のネットワーク化による地域の教育力の向上



施策の柱①

様々な人や機関をつなぐ核となる人材のネットワーク形成の推進

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵 生きがい 人とのつながり 地域とのつながり	要保護児童対策地域協議会	要保護児童及びその保護者に関する情報その他要保護児童の適切な保護を図るために必要な情報の交換を行う。	要保護児童の適切な保護を図るために必要な情報の交換 支援の内容の検討	児童家庭課
	市民大学理事会	ヒューマンカレッジを効果的に運営し生涯学習の振興を図るための高等教育機関・社会教育関係機関から組織する。	毎年の開催学部 講座内容 実施機関の選定 開催方法等の検討	生涯学習プラザ
	子ども読書活動推進庁内検討委員会	すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができるための環境整備を促進する。	子ども読書活動推進計画の策定に関すること 子どもの読書活動の施策の推進に関すること	生涯学習課 児童家庭課 地域保健課 学校教育課 総合図書館
	こども♡あいネット	子育て支援をする市民活動団体等の相互交流を促進することで、団体間の連携を強化し、いわき市内の子育ち・子育て支援活動を充実させる。	「こども♡あいネットフェア」の開催 情報交換、子育て支援者の学習会	こども♡あいネット事務局
	学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業における地域コーディネーターの養成	学校と地域が連携した取組みを進めるため、学校と地域をつなぐコーディネーターとなる人材を育成する。	事業推進コーディネーター及び社会教育指導員による研修会・情報交換会の開催 各公民館ごとに設置予定の地域コーディネーターの人材育成	公民館 生涯学習課

施策の柱②

学校・家庭・地域の協働による学習環境の整備

心身 知恵 生きがい 人とのつながり 地域とのつながり	取組・事業名 青少年・家庭教育研修	目的 地域や家庭における教育力の向上に寄与し、積極的に家庭教育に参与する資質を滋養することを目的とする。	事業（講座）内容 青少年や家庭教育に関するテーマについて年4回の講座を開催	団体名・担当 総合教育センター
	学校図書館との連携	児童・生徒の読書活動推進のため、学校と図書館が連携を強める。	テーマ図書の貸出 この本よんだ？セットの貸出 学校図書館の運営のため、学校図書館支援ボランティアへのアドバイス	総合図書館
	サークル企画 学校体験講座	学校教育と社会教育が相互に補完し合う学校向けの講座の提供を目的とする。	朗読体験 絵手紙体験 ダンス体験 茶道体験	生涯学習プラザ
	放課後子ども教室	東日本大震災により避難生活を余儀なくされている子どもたちの放課後対策として、子どもたちの活動拠点を設け、仮設住宅等入居者への支援を行う。	子どもたちの放課後対策として、雇用促進住宅集会所で実施	総合教育センター
	学校評議員	地域に開かれた学校づくりをより一層推進することを目的とする。	学校運営、PTA活動、地域連携等に関する意見交換	学校教育課
	学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業	学校・家庭・地域が関わり合いながら地域ぐるみの人づくりを目指して、各学校・地域が連携しながら様々な取組みを進めると共に連携・協力体制を構築する。	学社連携・融合及び学校支援的活動の実施 社会教育指導員が学校の二ーズや課題を把握 研修会、事例研究発表会の開催	公民館 生涯学習課

取組みの例

子ども読書活動推進庁内検討委員会

本との出会いは、私たちの人生に計り知れない大きな影響を与えてくれます。
いわき子どもたちと本との出会いをもっともっと進めていくために、私たちは何をなすべきなのでしょう？

より良い読書環境を実現するために、子どもの読書をめぐる教育・保健・福祉などの関係職員が部署を横断して協議を行い、いわき市全体で子どもの読書を推進していく体制づくりを行います。

子どもたちと絵本をつなぐワークショップの開催の様子



学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業

これまでの学社連携・融合事業及び学校支援地域本部事業を統合して、新事業としてスタートした24年度は、それらの取組みが活発に展開されるような連携・協力体制づくりの強化を図っています。年度当初には6地区に分けて事業の説明会を実施し、公民館職員と学校の担当教員が情報交換できる時間を設けました。これにより、お互い顔合わせができただけでなく、取組みの紹介や、今後連携ができる取組みの案について話し合うことができました。



施策の方向性 11 「生涯学習」と「まちづくり」の循環の仕組みを支える基盤の整備



施策の柱①

各関係機関が協働して生涯学習を推進する体制の整備推進

	取組・事業名	目的	事業（講座）内容	団体名・担当
心身 知恵	公民館運営審議会	公民館事業の企画実施について調査審議を行うことを目的とする。	講座・教室等の事業計画の審議 新規学習プログラムについての検討	基幹公民館
	社会教育委員の会議	地域・行政・学校の仲介役、ネットワーク行政のコーディネーター的役割を果たし、行政や関係者に働きかけることを目的とする。	社会教育・生涯学習施策に関する意見具申 交付金に対して意見	生涯学習課
生きがい	ユネスコ活動に対する支援	教育・科学・文化などのあらゆる活動を通して、戦争のない世界平和と人類の福祉の促進を図る。	平和作文コンクール 書き損じはがきの収集 被災した10校に対する支援	いわきユネスコ協会 生涯学習課
人とのつながり	教育行政イノベーション推進会議	地域のあらゆる資源をフルに活用し、子ども達の心と人間性を育むための豊かな土壌づくりを進める。	教育行政イノベーション推進会議の開催 教育を取り巻く各種課題に応じたプロジェクトチームの設置	教育委員会 総務課 学校教育課 生涯学習課 文化課 保健体育課
地域とのつながり	生涯学習推進本部	生涯学習施策の進捗状況を調査し、市全体で生涯学習の推進を図ることを目的とする。	進捗状況の調査 生涯学習推進計画の策定	生涯学習課

取組みの例

教育行政イノベーション推進会議

教育委員会は、平成24年3月、「いわきの復興に向けた教育メッセージ～これからの“人づくり教育”の方向性～」を公表しました。

このメッセージは、これからの本市の復興を支え、未来へ飛躍する子どもたちのため、今後の教育に関する基本理念や基本目標、さらには、教育委員会として取り組むべき主要施策を打ち出したものです。

その実現に向けた具体的取組みとして、教育行政における重要事項を総合的に審議する「いわき市教育行政イノベーション推進会議」の開催や、個別のテーマに応じた組織横断的に協議・検討する「プロジェクト・チーム」を設置しています。

平成24年度には、学校のあり方、芸術・文化資源活用、食育・健康推進、地域教育力向上、教育行政活性化、経済教育検討の6つのプロジェクト・チームで、各テーマに応じて集中的な検討を行いました。今後も、教育に関する課題に応じたプロジェクト・チームを設け、柔軟な対応を進めていきます。



食育・健康推進PTをきっかけに
取り組んだ「スーパー給食」事業。